

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月1	教室名	702
担 当 教 員	大川 直澄	実務経験と その関連資格	脳神経外科医として勤務経験 脳神経外科・リハビリテーション認定医)			
《授業科目における学習内容》						
脳脊髄の中樞神経系の構造と機能、障害について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
神経解剖集中講義(第2版) 医学書院 神経内科テキスト改訂第4版 南江堂						
《授業外における学習方法》						
新聞、テレビ、You Tubeなどから健康・病気・福祉に関する記事、報道に関心を持つこと						
《履修に当たっての留意点》						
中枢・末梢神経の解剖と機能を結び付けて理解していくことは非常に忍耐が必要です。復習が大事です。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳皮質から脊髄までの運動路、感覚路を説明できる	教科書、脳模型、画像	構造物と画像の一致	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の構造と画像(脳と脊髄)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳における機能局在と情報処理を理解する。脳血管系、頭蓋内の構造を学ぶ	教科書、画像、You Tube	You Tubeで脳血管の名前と役割の理解	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の構造と画像(脳血管系と脳脊髄系)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経の機能について学び、視野障害、複視、球麻痺を理解する	教科書	脳神経の役割と理解	
		各コマにおける授業予定	末梢神経系(脳神経)の構造と機能			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の構造と機能について理解する。自律神経について理解する。	教科書	You Tubeで「自律神経・解剖」を検索し調べる	
		各コマにおける授業予定	神経学的検査法、末梢神経系(体性神経、自律神経)の機能			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害の原因と分類と評価法を理解する	教科書	意識障害の評価法	
		各コマにおける授業予定	意識障害、脳死、植物状態、頭痛			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体路障害について理解する	教科書	錐体と障害の理解
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の機能(錐体路)と障害		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体外路障害について理解する	教科書	錐体外路障害の理解
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の機能(錐体外路)と障害		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動失調について理解する	教科書	失調の理解
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の機能(運動失調)と障害		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語の局在について理解する	教科書	失語症の定義と画像の理解
		各コマにおける授業予定	大脳皮質の機能局在(言語領域)と障害		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	失認・失行について理解する	教科書	失認、失行の定義と画像の理解
		各コマにおける授業予定	大脳皮質の機能局在と障害(失認、失行)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶、注意、遂行機能について理解する	教科書	定義と症状を理解する
		各コマにおける授業予定	大脳皮質の機能局在と障害(記憶、注意、遂行)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音障害と嚥下障害について理解する	教科書	旧麻痺、仮性球麻痺を理解する
		各コマにおける授業予定	構音障害と嚥下障害について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚障害について、頭蓋内圧亢進症状について理解する	教科書	定義と症候を理解
		各コマにおける授業予定	感覚障害について、頭蓋内圧亢進症状について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経生理学検査について理解する	教科書	定義と症候を理解
		各コマにおける授業予定	神経生理学検査、画像検査について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連した国家試験過去問題を理解する	教科書	問題傾向を理解
		各コマにおける授業予定	前期授業に関連する過去の国家試験問題		